

学校だより

熱

砂

&lt;発行&gt;

令和2年9月17日

発行責任者：校長

和田 政男

## 突然の学校閉鎖, 9/13 再度の学校再開

8/30の突然の学校閉鎖に関わっては、保護者の皆様をも驚かせ、大変申し訳ありませんでした。経緯については、9/6付け学校からの通知でお知らせしたとおりです。8/29のPCR検査で陽性反応が出た職員はその後症状はなく、2週間後のPCR検査結果も陰性であることを確認し、通常通り勤務しております。

学校には、DHA(ドバイ保健局)、DM(ドバイ・マニシパリティ)等からも膨大なチェックリストが届き、頻回の査察を受け、苦しい対応を迫られております。新型コロナに対する安全対策については初めて行う試みだけに、それぞれの機関からの指導を受けながら、やりながら改善してゆくという方針で、学校の新しい生活様式を作り上げようとしているところです。

今後もより安全でスムーズな方法を模索する中で、あるいは関係機関からの指導で、急な生活様式の変更等があるかと思いますが、ご理解のほど、よろしく願いいたします。また、ご意見・ご質問等ありましたら遠慮なくお寄せくださいますようお願いいたします。

### 学校のグランドデザインの策定

ドバイ日本人学校創立40周年の年、今後のドバイ日本人学校はどうあれば良いか。そのイメージを作り上げようと、昨年度後半より校内研究の一環として先生方が討議を繰り返してきました。そうして出来上がったのが別紙の「令和2年 ドバイ日本人学校 グランドデザイン(案)」です。(後日紙媒体でも配布)

本校には、創立以来掲げ続けている教育目標「**自主性・自律性・国際性**」がありますが、これは永遠に求め続けるべき目標であり、私たちはこれを「**理念**」と読み替えることにし、さらに追い求めるべきものとして心身の健康を加えました。そして、時代や状況によって変わるかもしれない目標を「**はぐくむ児童生徒**」と名付け、5年～10年のスパンで考えました。達成できたと考えれば変更可能な目標、時代の要請によっては変更可能な目標です。これをもって、「**目標達成型学校**」を意識したつもりです。

そして、そのような児童・生徒に身につけさせたい力として、沢山ある資質・能力から、特に「**言語力**」と「**探究力**」を選び、当面の重点に据え、その力を伸ばす手段として学校の諸活動を配置しました。

つまり、今後の諸活動を計画する際には、このグランドデザインを意識して計画し、「**はぐくむ児童生徒**」に迫ろうとするわけです。

さて、このグランドデザインは未だに(案)の状態です。完成形は、タイトルの下に、子どもたちのアイディアで、本校のスローガンを入れたいと思っています。「ドバイ日本人学校はこんな学校だよ」「こんな学校になればいいな」。そんな声を募集いたします。

詳しくは学級担任よりお話があります。

### UAE オリンピック委員会より「シルクプロジェクト」認定証授与

ドバイ日本人学校、アブダビ日本人学校を始め、湾岸諸国の日本人学校と日本の10校程度の学校が、蚕を育て、繭からとったシルクを、湾岸諸国に日本産の絹として紹介しようという、シルクプロジェクトが進行中です。衰退し消滅しつつある日本の養蚕業ですが、湾岸諸国で市場を開拓することで、日本の養蚕業復活のきっかけになればという期待を込め、また、このプロジェクトを通じて、日本人学校同士、日本の学校との交流をねらいとするプロジェクトです。

ドバイ日本人学校は昨年度からこのプロジェクトに参加し、昨年度はG5の子どもたちが蚕を育てました。今年度は、学校閉鎖の中でも養蚕の勉強を続けたG3の子どもたちが、いよいよ実際に蚕を飼い始めました。

このプロジェクトで生産したシルクは、すでにUAEのオリンピック選手団が、UAE国旗や日の丸の小旗、ユニフォームの一部に使用することが決まっており、このほど、UAEオリンピック委員会からシルクプロジェクトへの参加校に認定証が授与されることになりました。ドバイ日本人学校はプロジェクト参加校を代表して認定証をオリンピック委員長より直接受け取り、各校にお届けすることになっています。

コロナの影響で9/17に予定されていた授与式は10/1に延期になりましたが、生徒会長を始めとする代表生徒8名がNational Olympic Centerに赴き、UAEオリンピック委員会委員長のアハマド氏より、認定証が授与される予定です。